
ただまっすぐに

前田小太郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ただまっすぐに

【Nコード】

N5541N

【作者名】

前田小太郎

【あらすじ】

弱小野球部に所属している中学3年生投手清 隆明は最後の夏の大会で初戦敗退を喫してしまう。その試合を観ていた高校野球の名門校・白河高校野球部副部長の篠田亜矢は、隆明の投手としての才能を見抜き、スカウトする。満を持して入学した隆明。そこに待ち構えていたのは、、、、

くプロローグく

7回裏2アウト満塁。

スコアは0 - 0の同点

一打サヨナラの場面を迎えていた。

ザッ

振りかぶられた両腕が雰囲気を漂わせる。

高々と上げた右足が踏み込まれ、左手から白球が放たれた。

放たれたボールはキャッチャーが捕りきれず後ろのネットへ一直線に飛んでいった。

サヨナラ負け。

北郷中学3年生清隆明の最後の夏が終わった。

帰り道、負けた悔しさで言葉も出ない隆明。

太陽は山に隠れ辺りは暗くなり始めていた。

そこに突如1人の若い女が現れた。

「あなた、清くんね？」

「……そうだけど、あんた誰？俺試合で疲れてんだけど……」

「よかったわ。私は福岡白河高校野球部の副部長篠田亜矢よ。」

「……白河高校？あんなすごいところが俺に何の用？」

「あなたわからないの？私はあなたをスカウトにきたのよ。」

「……えっ。なんで俺なわけ？」

「あなたはまだ本当の自分に気がついていないわ。その本当の自分が出せればうちの野球部でもエースになれるわ。どう？うちの学校に来ない？」

「………わかった。行くよ！」

「その答えを待ってたわ。じゃあまた3月に会いましょう。こつちからまた連絡するから。それじゃ。」
「そんじゃさいなら。」

そして、3月。

隆明は駅に向かった。

「来たわね。じゃあ行くわよ。」

「もちろん！白河高校が俺を待ってたんだよ！」

ここから始まる困難にどう挑んでいくのか、

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5541n/>

ただまっすぐに

2010年10月10日14時38分発行